

令和 8（2026）年度新採用消防職員防火服詳細仕様書

背文字入り・附属品付き仕様書

柏崎市消防本部

この仕様書は、柏崎市が購入する消防吏員用上下型防火服について定めたものである。

## 1 概要

この防火服は、外衣と中衣からなる多層構造とし、『ボディ・ナビデザイン』による特殊立体デザインの上衣とズボンとする。外衣と中衣は着脱可能なものとする。

防火服の ISO 規格である ISO11999 に準拠したものとする。

また、血液・体液を媒介とする感染症病原体から隊員を保護するため、透湿防水層には、JIS T 8060 D 及び JIS T 8061 D に規定されている人工血液バリア性、ウイルスバリア性試験においてクラス 6 レベルに適合する素材を用いること。

## 2 使用材料

### (1) 外衣生地（上衣／ズボン共）

品名	テイジン・ジーバリア®ライト X29720		備考
混率	メタ系アラミド 53% パラ系アラミド 47%		
組織	二重織		JIS L 1096
重量	215 ± 10 g/m <sup>2</sup>		JIS L 1096
引張強力	タテ 2300N 以上	ヨコ 1670N 以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	タテ 375N 以上	ヨコ 300N 以上	JIS L 1096 A-1 法
色相	ネイビー		
染色方法	メタ型・パラ型アラミド共に原液着色		顕微鏡法
番手	表・タテヨコとも 40 番手双糸 裏・タテヨコとも 20 番手双糸		JIS L 1096
密度	タテ 91 本以上 (2.54cm 間)	ヨコ 81 本以上 (2.54cm 間)	JIS L 1096
燃焼性	残炎時間	1 秒以下	JIS L 1091 A-1 法
	残じん時間	1 秒以下	
	炭化面積	10cm <sup>2</sup> 以下	
染色堅牢度	洗濯	(変) 4 級以上 (汚) 4 級以上	JIS L 0844 A-2 法
	汗変退色	4 級以上	JIS L 0848 A 法
	摩擦	(乾) 4 級以上	JIS L 0849 II 形法
撥水度	L0/L10 5 級以上 / 3 級以上		JIS L 1092 スプレー法
撥油度	L0/L10 5 級以上 / 4 級以上		AATCC 118 法
摩擦帯電電荷量	7 μC / m <sup>2</sup> 以下		静電気用品構造基準による JIS L 1094 C 法

### (2) 中衣

透湿防水層 (上衣／ズボン)	品名	X29020 ゴア クロステック®ラミネート品
	組成	アラミド100%基布にゴア クロステック®をラミネートしたもの

	<b>【要求性能】</b> 耐水圧：初期及び洗濯20回、294Kpa以上 JIS L 1092 フィルム面 加圧 皿使用 透湿度：850g/m <sup>2</sup> /h以上 JIS L 1099 B-2 法 ウイルスバリア性試験：JIS T8061 D 法：20回洗濯後 クラス6合格
遮熱層兼裏地 (上衣)	品 名 テイジン・テックウェーブ (TM) 品 番 X29F20 色 相 ネイビー
遮熱層兼裏地 (ズボン)	品 名 テイジン・エクスファイア®リップストップ 品 番 X29R20 色 相 ネイビー (格子部はゴールド色)

### (3) 補助材料

内 袖 口	アラミド100%ニット
面ファスナー	幅25mm 38mm 50mm
反 射 材	75mm巾 パンチングメッシュ 色相等は別途指示する
保冷剤ポケット	ナイロン黒メッシュ
ファスナー	YKK ファスナー
サスペンダー	ゴム製テープ幅38mm黒色 形状はホルスター型とする
押しホック	真鍮製#7050Aマーク
縫 製 糸	メタ系アラミド 100% 40番及びパラ系アラミド(フィラメント) 30番
膝 当 て 布	テイジン・エクスファイア®ツイル CX-2725

## 3 縫製

### (1) 全般

- ア 各部の縫い合わせは良好であること。
- イ 糸調子は良好であること。
- ウ 縫い代は約1cmとし、表地はオーバーロックを掛け縫い始め、縫い終わりは返し針を施すこと。
- エ 各部の縫製は防水構造を用いた縫製とすること。

## 4 上衣

### (1) 身頃

- ア 前身頃のハギ脇合わせはオーバーロックを掛け地縫いをして片倒し飾り縫いとする。
- イ 左前身に幅10cmの前立付きとし前立内側に面ファスナー及びコイルファスナーを縫い付ける。
- ウ 右前身頃に面ファスナーとコイルファスナーを付ける。
- エ 前立下部に押しホックを取り付ける。
- オ 両前立側面にマイクハンガー及びアンテナ止めを取り付ける。
- カ 後身頃は一枚仕立てとする。
- キ 前身頃胸部・後身頃背中・裾に反射テープを縫い付ける。

- ク 見返し上部にハギを入れ中衣着脱のコイルファスナーを付ける。
- ケ ポケット上部及びベルト通し裏面に力布として透湿防水層を縫い付ける。
- コ 右前身頃見返し下部に片布を取り付ける。
- サ 左肩に腕章用ループを取り付ける。
- シ 安全帯用ベルト通しを取り付ける。

(2) 襟

- ア 表及び裏に共布を用いた一枚襟とし、芯地を入れ、地縫いの上飾り縫いをする。
- イ 襟巾は後中心で約 11 cm とする。
- ウ 襟の前部にはストラップが取り付けられていること。
- エ 襟付けは防水構造を用いた縫製とする。
- オ 表襟中央に襟吊りとサイズマークを付ける。

(3) 袖

- ア 袖は特殊ハギを用いた 4 枚袖とする。
- イ 運動性を良くする為に後袖山にダーツを設ける。
- ウ 袖口にアラミド素材のジャージと浸水防止用透湿防水層を縫い付ける。
- エ 袖口には擦れ防止用として幅約 3 cm の共生地を縫い付ける。
- オ 袖口には擦れ防止用として幅約 3 cm のコーティング基布を縫い付ける。
- カ 袖口より約 10 cm 上に反射テープを縫い付ける。
- キ 袖口に中衣止め用押しホック付ナイロンテープを左右各 2 個取り付ける

(4) ポケット

- ア 前身頃の胸部左右と下部（裾）の左右に、合計 4 個のポケットを設ける。
- イ 形状は三方風巾ポケットで雨蓋付きとする。
- ウ 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーを付け地縫いの上飾り縫いとする。
- エ 縦 18 cm、横 7 cm、厚さ 7.5 cm の携帯無線機が入る大きさにすること。（アンテナは含まない）
- オ 胸ポケット上部にアンテナ止めを設ける。
- カ 胸ポケット内側に警笛用ループを取り付ける。
- キ ポケット底部に水抜き穴を設ける。

(5) 中衣

- ア 中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地からなり、各々を重ね縫いする。
- イ 肩部に難燃フェルト（遮熱層兼裏地）を縫い付ける。
- ウ 両脇に保冷材収納用ポケットを縫い付ける。
- エ 透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いをし、シームテープで目止めをする。
- オ 右前身頃下部に取り扱い表示、及びサイズマークを縫い付ける。
- カ バイヤステープで身頃及び袖口を始末し、外衣着脱用コイルファスナーを付ける。

(6) 背文字

背文字を刷り込み印刷で入れること。黄色で下記レイアウトのとおりとし、文字位置については担当者と協議すること。



## 5 ズボン

### (1) 身頃

ア ズボンの形状は、最初から「く」の字の様に曲がっているデザインとしてベルトとサスペンダーにより支持するものとする。

イ 内股部・脇部に運動性を良くするための特殊ハギを入れる。

ウ 脇縫い・内股縫い・尻縫いは裁ち目にオーバーロックを掛け地縫いをして片倒し飾り縫いとする。

### (2) 前立て

ア 前立てはコイルファスナーと面ファスナーの併用仕立てとし押しホックで止める。

イ 押しホックの裏側には透湿防水層の当て布を付ける。

### (3) 膝部

ア 運動性を良くする為に膝部はバイヤス裁ちにする。

イ 膝部に補強の為バイヤス裁ちにした当て布を縫い付ける。

ウ 膝部に補強の為コーティング基布を縫い付ける。

### (4) 腰部

ア ベルト通しを6本縫い付け、右前ベルト通し下にサイズマークを挟み縫いする。

イ ベルト幅は約38mmとし、腰の両側で確実に締められる構造であること。

ウ ベルトが抜けないように先金（樹脂製）付きとする。

エ 締め付けた後に緩まないようにフリー面ファスナーで固定できる構造であること。

オ 前身頃上部に外衣共生地でサスペンダー受け金具支持台を縫い付ける。端末部分はカン止めをする。

カ サスペンダーは、着用者の動きを妨げないホルスター型とする。

キ 腰裏地に中衣着脱のコイルファスナーを付ける。

ク 左腰裏に片布・サイズマークを縫い付ける。

ケ 安全帯を装着できる構造であること。

### (5) 裾

ア 両裾から約10cm上の位置に、反射テープを縫い付ける。

イ 裾口脇側に開閉コイルファスナーを取り付ける。

- ウ 裾口に絞り用フラップを取り付ける。
- エ 中衣固定のため、押しホック付ナイロンテープを左右各2個取り付ける。
- オ 裾口には擦れ防止用として幅約3.5cmのコーティング基布を縫い付ける。

(6) ポケット

- ア 大腿部外側の左右にポケットを設ける。
- イ 形状は三方風巾ポケットで雨蓋付きとする。
- ウ 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーを付け地縫いの上飾り縫いとする。
- エ ポケット底部に水抜き穴を設ける。

(7) 中衣

- ア 中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地からなり、各々を重ね縫いすること。
- イ 透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いシームテープで目止めをする。
- ウ 膝部に難燃フェルトを（遮熱層兼裏地側）縫い付ける。
- エ バイヤステープで腰部及び裾口を始末し、外衣着脱コイルファスナーと面ファスナーを付ける。
- オ 左身頃上部に取り扱い表示・片布・サイズマークを取り付ける。

## 6 しころ

- ア しころは1枚裁ちとし、傷、汚れ等の欠点のないものとする。
- イ 裏面上端部に、綿テープを縫い付け補強する。
- ウ 顔面を覆う折り返しを外衣共生地で縫い付ける。
- エ 片布を裏面中央に縫い付ける。

## 7 寸法表

(1) 上衣

サイズ	着丈	衿丈	胸囲	裾回り
S	67	77	116	112
M	69	80	120	116
L	73	83	124	120
LL	77	86	130	126
3L	81	89	136	132
4L	85	92	146	142
5L	89	95	156	152
BM	73	78	124	120
BL	77	81	130	126
BLL	81	84	136	132
B3L	85	87	146	142
B4L	89	90	156	152
B5L	89	93	166	162

\* 衿丈に関しては±5cm刻みで調整可能とする。

## (2)ズボン

ウエスト	裾幅	股上	渡り幅
W 8 0	2 1	2 8	3 6
W 8 5	2 1	2 9	3 7
W 9 0	2 1 . 5	3 0	3 8
W 9 5	2 2	3 0	3 9
W 1 0 0	2 2 . 5	3 1	4 0

ウエスト	裾幅	股上	渡り幅
W 1 1 0	2 3	3 2	4 3
W 1 2 0	2 4	3 3	4 6
W 1 3 0	2 5	3 4	4 9
W 1 4 0	2 5	3 5	5 2

＊ 股下に関しては± 5 c m刻みで調整可能とする。(例：股下 70cm、股下 75cm、股下 80cm 等)

## 8 附則

- (1) 落札業者は物品納入時に防火服に使用する表生地に関して、生地紡績メーカーの品質証明書出荷引受書、並びに中衣素材に関しては、中衣①透湿防水層の要求性能を満たすことを示す素材メーカーの品質証明書を提出すること。
- (2) 仕様書に記載がない部分については当本部と打ち合わせるものとする。

## 9 附属品

附属品は下記のとおりとし、指定品とする。

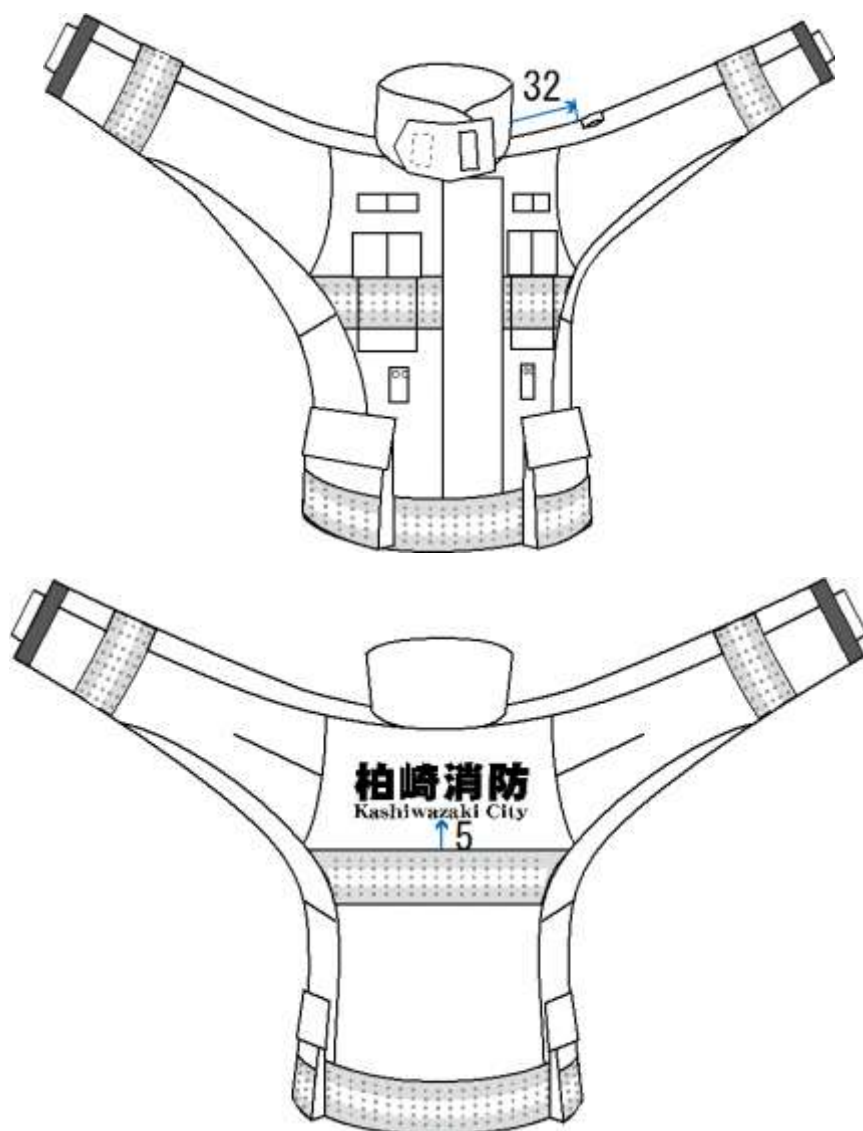
- (1) 赤尾製NEO—P 2 2 ヘルメット 銀（自己消火型、防護面内蔵式、き章・周章・所属名及びネーム入り）  
ア 帽体には「柏崎消防」と左右に刷り込み印刷  
イ 大きさは一文字約 3 c m角、色は黒、文字体は角ゴシックとする。  
ウ 階級ごとに周章（赤スコッチテープ）を巻く。但し、文字部分、後部中央約 7 c mはカットすること。
- (2) H A I X社製 防水皮製防火靴
- (3) 墜落制止用器具 赤尾製NEO—R 2 型（ワンタッチバックル式、黒色、1 2 0 c m）

## 10 納期等

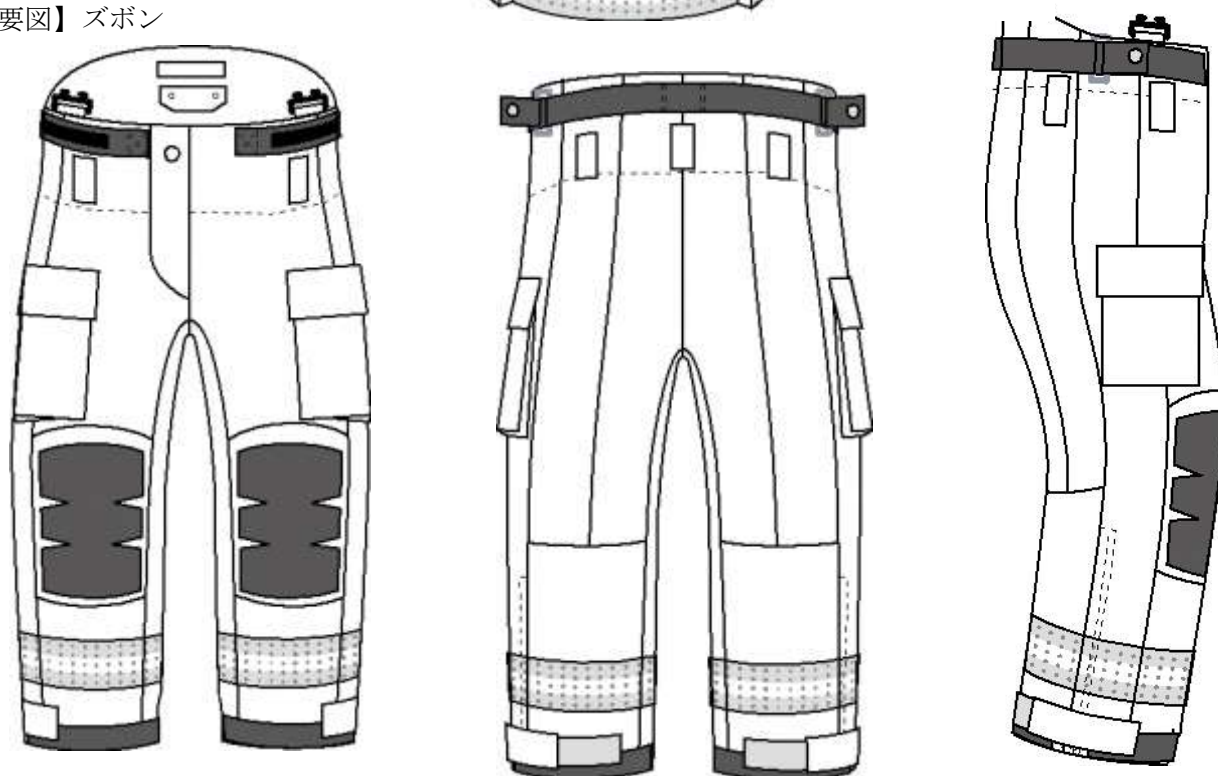
納期は令和 8 （2026）年 3 月 3 1 日（月）とする。

納入するサイズについては、契約後に連絡する。

【概要図】 上衣

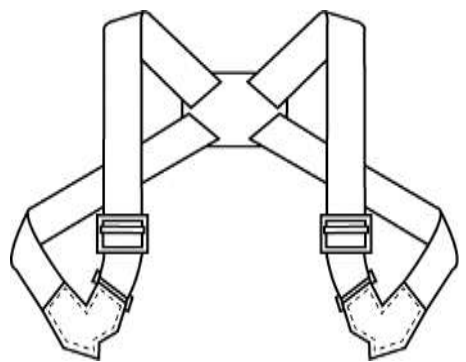


【概要図】 ズボン





【概要図】ホルスター型サスペンダー



【概要図】しころ

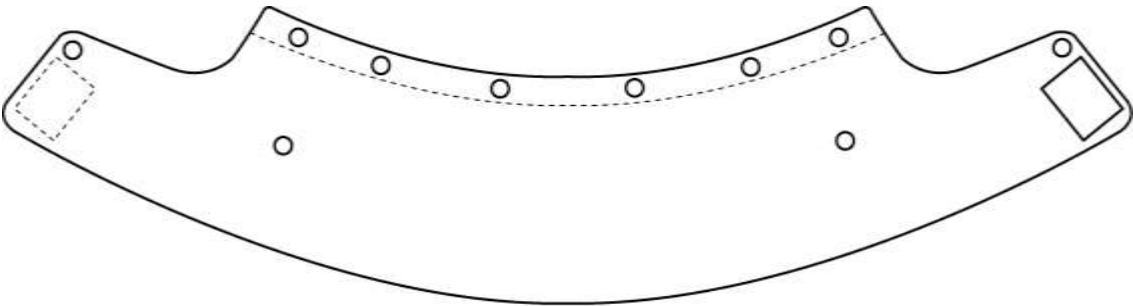
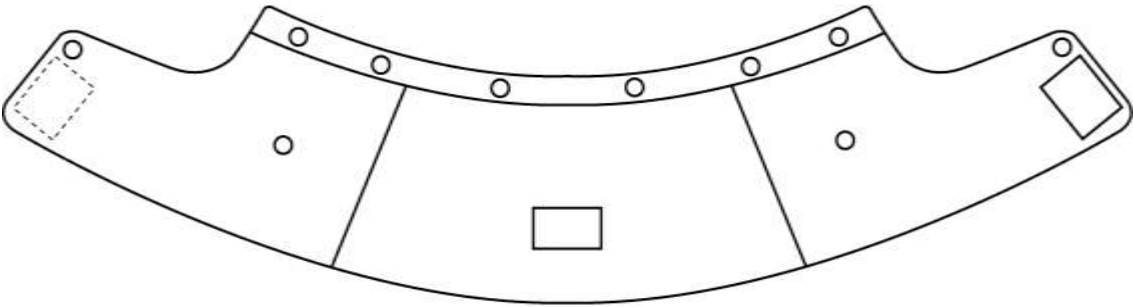


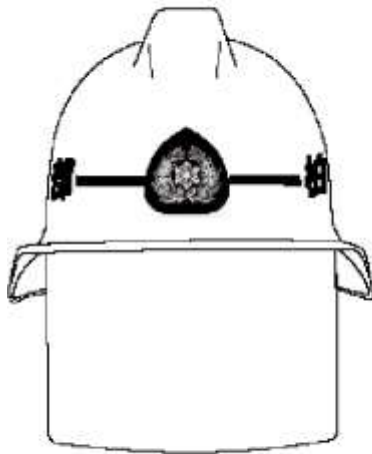
表 面



裏 面

【概要図】 ヘルメット

前 面



後 面



- ・あご紐リング式
- ・前窓：塩化ビニール製反射式（黒）

側 面



赤スコッチテープ  
階級線入り  
文字部分カット

文字 黒色 角ゴシック 左右左読み

柏 崎 消 防